

2010 県事協だより

No.61 2010年 9月16日
発行 鹿児島県公立小中学校事務職員協議会
編集 同編集委員会

活動経過及び予定



- 4月14日 第1回理事会
- 4月20日 HP 更新 30
- 5月13日 第2回理事会／第1回評議員会
第1回 評議員会
- 5月25日 第3回理事会／第1回常任委員会
- 6月11日 県事協事業説明会
- 6月25日 第4回理事会
- 7月22日 第1回第五次県費事務改善検討委員会
- 8月 3日 第2回第五次県費事務改善検討委員会

第九回 県事協 総代会 開催！

去る8月6日(金)県教職員互助組合会館に於いて本年度の総代会が県下10地区から17名の総代が参加し、盛大に開催されました。会長の開会あいさつに続き、福利厚生事務センター・教職員共助会・教職員互助組合・鹿教組・教職員共済の代表者からの来賓あいさつでは県事協の活動に対する期待の言葉が寄せられました。南薩・山崎さんが議長ということで、協議に入り、

- 第1号議案 09年度事業経過・決算報告に関する件
- 第2号議案 10年度事業計画・予算(案)に関する件
- 第3号議案 会則・運営細則改正に関する件
- 第4号議案 役員承認に関する件

が執行部より提案され熱心な協議を経た結果すべての議案が提案どおり承認されました。今年度事業については既に先行実施している第5次県費事務改善検討委員会では昨年度まで基本的に夏季休業中のみ活動だった検討委員の中から新たに4名の方に常任委員になっていただき、年間を通じてマニュアル等更新に携わっていただいているところです。本年度は印刷サービスはいたしません基本的には前年度並みの作業量になると思います。各地区にCDあるいはUSBメモリー等の電子媒体で「仮称R4」を1組ずつ配布する予定ですので、**各地区役員**におかれましては「各地区研修資料データ」と併せて電子媒体にて全会員の皆様に届くようによりしく願います。また、アンケートを実施し、今後マニュアル等を加除式にするか否かなどの方向

性を決めていく方針です。

会則・運営細則改正については地区が13地区ありましたが、教育事務所が7つになったことを受けて改正後県事協の地区は8つになりました。鹿児島・日置が行政上複雑で服務・指導関係と給与手当関係の所管が違うので県事協としては8地区ということです。(人事上も8地区です。)各地区の事務職員協議会におかれては統合の際の苦労は大変だったことでしょう。本当にご苦勞様でした。特に大隅は口蹄疫により正式な総会の開催は年末調整説明会の時だそうです。また、**拠出金**は各地区5000円と会員数×定額としました。「定額」とは今年度は1250円です。理事会で次年度事業計画を立てどれくらいの予算が必要かを算出します。それによって定額は変わることになります。11月の第3回評議員会で次年度分を提案する予定です。県事協は利益を出さないように適切な運営を心がけております。



役員体制ですが、前田会長、吉元理事(3月)が退任し、早崎会長、濱田理事が就任しました。前田会長は2年間、吉元理事は約4年間、ご苦勞様でした！

【 2010年度 役員名簿 】

役職名	氏名	地区	学校名
会 長	早崎 当和	北薩	蘭牟田小
副 会 長	吉井 文明	大隅	波野小
理 事	箱川 道彦	北薩	川内小
	寄井田 雅裕	北薩	鶴川内中
	越智 義隆	南薩	川畑小
	濱田 裕樹	大隅	森山小
	松元 裕之	日置	羽島中
監 事	中元 利彦	南薩	山川中
	野崎 浩一	北薩	東出水小

HPの更新は10月上旬予定 検索は「鹿児島県教職員共助会」で。リンクで「県事協」とありますのでそこから入っていただくとありがたいです！



本当にご苦労様でした！



期待しています！！

退任のご挨拶

自らの浅学非才を顧みず、会長の重責を二年間務めさせていただきました。皆様のご支援・ご協力により何とかその職責をはたすことができましたことにあらためて御礼申し上げます。

お蔭様で得難い経験をさせていただき、私自身の物の見方・考え方をとらえ直すよい機会ともなりました。

今後とも県事協が新体制のもと、時代の要請と設立の趣旨とを調和させながら、益々発展充実することを祈念し、甚だ簡単ながら退任のご挨拶といたします。

前田潤一

この度、異動に伴っての欠員補充ということで理事になりました志布志市立森山小学校の濱田と申します。鹿児島県の事務職員制度のあり方が大きく変わろうとする大事なときにこれまでほとんど県事協には関わっていなかった私なんかにはできるのかとにかく不安でいっぱいです。しかし、なった以上は県事協の基本理念である「情報の共有・享受」、「広域的な連携」に少しでもお役に立てるよう精一杯がんばるつもりでいますのでよろしく願いいたします。

濱田裕樹



【会員地区一覧】 (2010年5月1日現在)

名 称	会員数
鹿児島市学校事務研究会	63
日置地区学校事務職員会	38
南薩地区小中学校学校事務職員会	74
北薩地区小中学校学校事務職員研究協議会	117
始良・伊佐地区事務職員協議会	90
大隅地区小中学校学校事務職員協会	137
熊毛地区事務職員連絡協議会	38
大島地区公立小中学校学校事務職員協会	100
計	657

よろしくお祈いします！



今回の総代会において、前田会長の後任として会長となりました。よろしくお祈いいたします。退任された前田さん、吉元さんにおかれましては大変ご苦労様でした。

幸いにして吉井副会長をはじめ、多くの理事の方々を引き続き留任していただいております。築き上げられた県事協の確固たる地歩を、しっかりと引き継いでその任にあたれます。

さて県事協は、9年目の歩みをスタートしました。これまで県事協の行ってきた事業は、はかりしれない「財産」を残し、関係各方面から高い評価を得てきています。これは役員の方々や、諸委員の任を担った多くの県内の学校事務職員の刻苦勉励の賜です。この「財産」をさらに継承発展させなければなりません。

義務教育費国庫負担制度改悪時に、「学校事務職員は学校の基幹的職員である」ということが議論されました。私たちはこの「基幹的職員」ということを、学校現場においてまさに文字通り「基幹的職員」とすべく、諸手当の認定権限の移譲や学校事務支援室の導入等、大きな変わり目の中においてさらなる実践を行う必要があります。

県事協の設立の趣旨にある「県下の学校事務職員が等しく情報を共有・享受し、広域的に連携し集う場」となるよう県内全事務職員の叡智をひとつにせねばなりません。創造されようとしている新たな学校事務職員制度を、若い世代に引き継ぐために県事協の果たすべき役割は重要と考えます。

各地区協議会等を基礎に、県事協がこの任を責任をもって担えるようみなさんのご協力をお願い申し上げます。

早崎 当和



8月26日の3回目をもって第五次県費事務改善検討委員会が終了いたしました。平均年齢が高い県事協会員中、比較的若い(笑)委員の方々の熱意と意欲に圧倒されました！前記したように4名の方々には残っていただき、他の常任委員の方々と共にマニュアル完成までお付き合いいただきます。この活動状況は次号以降追って掲載したいと思います。

編集後記

7月末に全事研徳島大会に行きました。文科省の説明、分科会での香川県から来られたある校長先生、講義をされた先生、皆様に「連携」という言葉を散りばめられました。文科省初等中等教育局企画官・高橋氏は「事務職員が管理職をサポートする仕組み、積極的に支える仕組みができないか」また、「個人的には事務職員は地域密着型であって欲しい、教員は広域な人事で、事務職員は地域に根付くことで地域とのパイプ役を」と言われたが、新標準の出たばかりの鹿児島には無理のある話だと思った。全体会で講義をされた国立教育政策研究所・藤原氏は「持田栄一氏の教育としての学校事務論を振り返ること、地域社会とのつながり・地域を育てるような学校であってほしい」などと言われた。「教育支援とは何か。そこにはビジョンが必要だ」うーん、難しい！

